

質

行財政改革の進捗状況と、その成果をどう捉えているか。

市長

行財政改革において、「第2期集中改革プラン」では、削減目標を11億8000万円として、職員数の削減や給与制

### 行革の進捗状況は

～11億8000万円を削減目標～

市長

これまで行政組織・機構の課題について調査やヒアリングなどを実施し、課題解決の方策を始めとする計画の素案について検討を進めてまいりました。6月には「行政組織・機構(案)」を議員の皆様にご説明し、新しい組織体制の構築を図ってまいりたいと考えてい

質

平成23年度から行政組織の再編をスタートさせる計画であったが、

度の見直しを行っており、公債費については、有利債を最大限活用した計画的な削減を行っております。しかし、今後扶助費や繰り出し金などの増加が予想されることや、公共施設の見直しが進まない事などがあります。今後は市民へ行革の必要性について理解と協力をいただけるよう周知してまいります。

ます。実施時期については、平成23年度を「部制」から「課制」への準備年度とし、平成24年4月1日からと考えています。

質

公共交通やコミュニティバスの見直し計画はどうなっているのか。

質

市長就任後2年が経過しようとしているが、これまでをどのように総括しているか。

市長

これまで「第一次豊後大野市総合計画」の8つの政策目標に基づき、その実現に向けて取り組んでまいりました。平成22年度は、「行財政改革の充実」「新庁舎建設事業」「高速情報通信網整備事業」などに取り組みました。

さらに国の「地域活性化臨時交付金事業」を積極的に取り入れ、これまでに総額約92億5000万円に及ぶ事業を執行し、社会資本の整備や地域に密着した道路の整備、子どもたちに安全な学校耐震化対策の事業などを展開してまいりました。



辞令交付式(新採用)



コミュニティバス

市長

これまで公共交通運行情況の把握や乗降調査、アンケート調査などを行い、公共交通の課題の整理や具体的な取り組みを協議してまいりました。

主な課題として、コミュニティバスの運行基準の統一などが挙げられます。課題解決に向け、JR線や乗降客数の多いバス路線を基幹路線とし、コミュニティバスを枝線と位置づけ、路線ネットワークの構築と再編を行うことを目

標といたしました。市民生活に合わせたルートとダイヤの設定を行うことを目標とし、実証運行については、本年10月を目標に準備を進めてまいりたいと考えています。

また、三重町と清川町の一部地域では電話予約によるデマンドタクシーの運行も行い、実証運行の期間中に、事業の分析と検証を行っています。

※デマンドタクシー指定されたエリア、曜日及び時間に限り運行するタクシー。



ケーブルテレビ情報センター(大野町)

### 市政2年間の総括は

～今後も早期事業の執行に努めます～



無所属の会 安藤 豊作